

秋田県教育委員会（所在地：秋田県）

事業名

秋田県「障害者の生涯学習支援モデル事業」

事業の趣旨・目的

- ・学校卒業後の障害者の学びの場がさらに拡充し、持続可能な体制の構築を目的として関係者が協議する地域連携コンソーシアムや本事業の周知啓発のための「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会を実施する。
- ・将来的には、全ての県民が、障害の有無に関わらず学び続けることができ、地域で互いを支え合うことができる共生社会の実現を目指す。

事業内容

- ①関係機関の参画による地域連携コンソーシアムの形成
 - ・地域連携コンソーシアムの開催（7月、11月、1月）
 - ・委員が得意とする分野や役割を基に協議を重ね、関係機関の連携を強化
- ②障害者の学びの場を継続的なものとするための方策の検討
 - ・県内全市町村教育委員会を訪問して事業説明
 - ・生涯学習講座を継続して実施していくためのモデル講座の実施や仕組の検討
- ③オーダーメイド型社会教育主事派遣
 - ・市町村等の要請に応じて、県の社会教育主事が現地に赴き、対象が抱える課題の解決に協働で取り組む
- ④地域における関係団体・支援者・障害当事者等が参加するコンファレンスの実施
 - ・「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会の開催（会場参加とオンライン参加）

事業実施体制・連携先

コンソーシアムの構成員…大学教授、障害者就業・生活支援センター長、相談支援専門員、県手をつなぐ育成会長、県特別支援学校PTA連合会長、県障害者スポーツ協会長、障害者アート団体代表、障害当事者、再委託先団体代表者、市生涯学習・障害福祉担当課長、県立特別支援学校長、県障害福祉課長、県教育庁特別支援教育課長

今年度の取組状況

- ①地域連携コンソーシアムの開催
 - ・各関係機関等の連携体制を見える化した「障害者の生涯学習を広げるための計画」を作成し、取組状況や来年度取り組みたいことを共有した。
 - ・来年度の事業に向けて、コンソーシアムの構成やコンファレンスの実施の方向性について意見交換し、地域に根ざしたネットワークの形成やモデル講座の発信について具体的な取組を検討した。
- ②生涯学習講座を継続して実施していくためのモデル講座の実施や仕組の検討
 - ・今年度再委託した地域の中で、市教育委員会が令和6年度に障害者の生涯学習事業を進める意向を示した。ほかの再委託先や自治体においても、「委託事業終了後も、継続して障害者の生涯学習講座等に取り組んでいきたい」「連絡会議のネットワークを重要視している」と、再委託先の連絡会議等を通して意思表示があった。
- ③オーダーメイド型社会教育主事派遣
 - ・今年度は、3市町において「防災講座」「車椅子体験講座」等を協働で実施したことを通じて、市町村職員等や一般参加者の障害理解を深めた。
- ④「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会の開催
 - ・令和4年度に比べ、市町村職員等の参加者が増え、「具体的な取組事例から今後の取組のヒントを得られた」との感想が多数寄せられた。

その他研究の詳細など



R5コンファレンス秋田大会
について（美の国あきたHP）



秋田県生涯学習センター
調査研究



地域連携コンソーシアム



「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」
秋田大会